

群 教 七	G11 - 03
	令3.278集
	特活 - 小

児童の自治的能力を育てる学級活動の工夫 —個を大切に、「エブリ・ワン」シートの活用を通して—

特別研修員 坂本 陽一

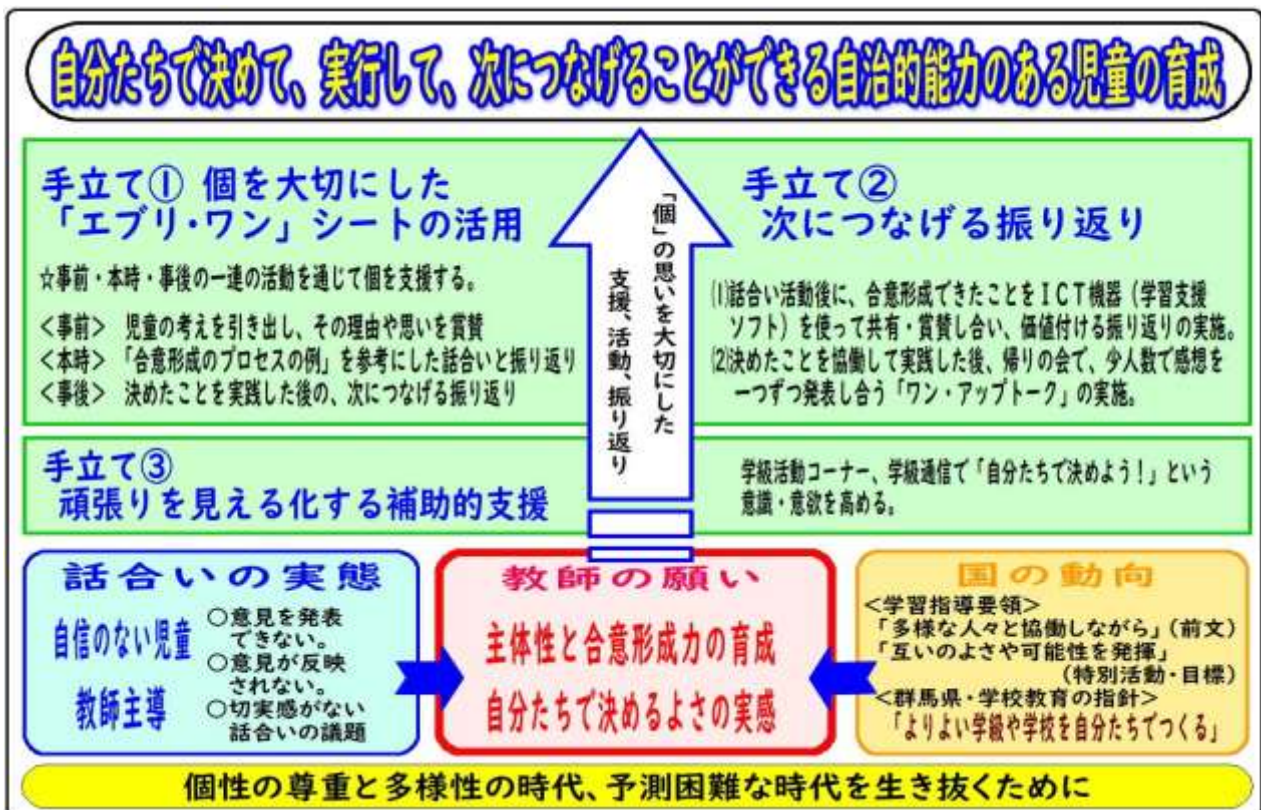
I 研究テーマ設定の理由

これまでの学級活動、話し合い活動の指導を振り返ると、教師が主導する話し合いが多くなったり、議題も児童にとって切実感がないものになっていたりして、児童が主体的に話し合って決める力を育てることができていなかった。また、児童の将来を考えても、様々な意見がある中で、自分の意見をしっかりとちながら、他者との折り合いを付けながらよりよい方法を選んで実行していく力を育てていく必要性を感じている。そのため、児童が自分たちで必要感のある議題を設定し、折り合いを付けながら物事を決定していくことで、学校生活や学校行事への意欲を高め、さらに実践を通して感じたことを、次の話し合いや活動に生かしていけるような児童を育てていきたいと考えた。

学習指導要領（平成29年告示）解説の特別活動の目標には「互いのよさや可能性を發揮しながら」とあり、異なる意見や考えを基に、様々な解決の方法を模索したり、折り合いを付けたりする集団活動における合意形成の大切さが示されている。また、群馬県の「はばたく群馬の指導プランⅡ」においても、「学級活動の授業では、（中略）問題を発見し、議題を設定し、話し合い、合意形成したことを協働して取り組むとともに、一連の活動を振り返り、次の課題の解決につなげることを通して自治的能力を育てます」とある。そこで、本研究では「自治的能力」を「児童が、自分たちで決めて、実行して、次につなげる力」と位置付け、上記のとおりテーマを設定した。

II 研究内容

1 研究構想図



2 授業改善に向けた手立て

本学級の学級活動において、「事前の活動」「本時」「事後の活動」という一連の活動を通して、個の意見や思いを大切にすする支援をしていくことで、自治的能力（自分たちで決めて、実行して、次につなげる力）を高めることができると考え、以下のように手立てを設定した。

手立て1 個を大切にすした、「エブリ・ワン」シートの活用

「事前の活動」「本時」「事後の活動」の一連の活動で活用する「エブリ・ワン」シートを作成した。まず、「事前の活動」において、一人一人が自分の意見をしっかりとった上で話し合いができるように、「エブリ・ワン」シートに自分の意見を書かせ、担任からのコメントを書いておくようにする。次に、「本時」において、自分の意見とともに、より多くの意見のよさを生かして合意形成をして決めていくように、「エブリ・ワン」シートに示した合意形成のプロセスの例を参考に考えるよう助言していく。そして、「事後の活動」において、実際に決めたことを実践した感想を「エブリ・ワン」シートに記入させ、次の活動への意欲を高められるように、担任からのコメントを書くようにする。

手立て2 次の活動への意欲を高める振り返りの場の工夫

「本時」の話し合い活動の振り返りに関しては、児童の合意形成力の向上につながるように、「たくさん発言していた」といった視点ではなく、「AとBの意見を合わせていた」などの「合意形成」に関わる視点で、ICT機器（学習支援ソフト）を使って感想や気づきを共有し、よい気づきなどは担任から紹介していく。「事後の活動」においては、決まったことを実践した後の振り返りの場として、帰りの会で、少人数で感想や反省を一人一つずつ発表し合う「ワン・アプトーク」を実施する。

手立て3 頑張りを見える化する補助的支援

児童の自治的能力を高めるため、話し合いの手順や次の話し合いの議題やめあて等を確認する学級活動コーナー（壁面掲示）を作成する。また、児童の頑張りを紹介する学級通信を発行する。

以上の手立てをもとに、一人一人の意見を引き出し、それぞれの意見のよさを生かして、一つにまとめさせ、そのように進める楽しさ・充実感を実感させていく。集団活動の中でこそ育まれる「自治的能力」であるが、そのための手立て・指導は、「個」を大切にすることに重点を置いている。

III 研究のまとめ

1 成果

- 「エブリ・ワン」シートを活用し、事前に児童に自分の考えをもたせ、担任からの励ましのコメントを書いた上で話し合いをしたことによって、一人一人の自発的な発言を促すことができた。
- 「エブリ・ワン」シートを活用しながら、「3年生と遊ぼう会をしよう」「クラスのミニオリンピックをしよう」など、児童の気づきから生まれた切実感のある議題で、話し合い活動を積み重ねたことによって、「AとBを合わせる」「条件を付ける」「納得して譲る」「多数決をとる」など、自分たちで合意形成して決めていく力を高めることができた。
- 「ワン・アプトーク」として、決まったことを実践した後の振り返りの場を設定したことにより、自分たちで決めて、実行していく難しさや楽しさなどを共有しながら、「またやりたい。」といった、次の活動への意欲も引き出すことができ、児童の自治的能力を高める活動となった。
- 学級活動コーナーに、話し合いの議題や話し合いのめあて、「みんなで決めたこと」を時系列で掲示したり、活動の様子を写真をメインにした学級通信で紹介したりすることで、自分たちで決めることや決めてきたことが見える化し、次の活動への意欲につなげることができた。

2 課題

- 一人一人の思いを生かした話し合いになるように、児童に何について合意形成をさせたいか等を明確にして、「みんなが盛り上がる○○」等の話し合いのめあての設定を工夫する必要がある。
- 学校行事や時期に合わせた議題であると児童の切実感も高まり、話し合い活動の指導には積み重ねが不可欠であるため、学年・学校としてより組織的・計画的に指導していくことが必要である。

実践例

1 議題名 「クラスのミニオリンピックをしよう」(第5学年・2学期)

2 本題材について

本題材は、クラスのミニオリンピックの開催に向けて、児童が主体的に話し合い、合意形成をして、決まったことを協働していく活動である。児童は、「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるような種目や工夫を、より多くの意見のよさを生かして決めよう。」という、話し合いのめあてに沿って、個人種目と団体種目を1種目ずつ決めたり、工夫できることを考えたりしていく。また、「エブリ・ワン」シートを活用することを通して、しっかり自分の意見をもった上で話し合いをさせたり、より多く友達の意見のよさを生かす方法を考えたりしていく中で、合意形成をしていく力を高めていく。さらに、決めたことをすぐに実践し、その振り返りの場として「ワン・アプトーク」を行う。そのような、一連の活動を通して、自治的能力(自分たちで決めて、実行して、次につなげる力)を高めることができると考えた。

以上のような考えから、本題材では以下のような指導計画を構想し実践した。

<p>目標</p>	<p>クラスのミニオリンピックをする場面で、「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるような種目や工夫」について話し合い、合意形成したことを協働して取り組むことを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 学級の課題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けられるようにする。(知識及び技能)</p> <p>イ 学級の課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 課題の解決や協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
<p>評価規準</p>	<p>(1) 「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるミニオリンピックにするための種目や工夫」について話し合い、決まったことを友達と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。(知識・技能)</p> <p>(2) 「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるミニオリンピックにするための種目や工夫」について話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。(思考・判断・表現)</p> <p>(3) 話し合いで合意形成したことを進んで協働したり、活動の中の互いの頑張りを認め合ったりしながら、よりよい学校生活や人間関係を築こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>		
	<p>基本的な学習活動 ◇学級全体 ◆計画委員</p>	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業等のポイント</p>	<p>・目指す児童生徒の姿【観点】(評価方法) 【記】記録に残す評価</p>
<p>事前の活動</p>	<p>10月12日(火) ◆議題の選定を行う。(昼休み)</p> <p>10月13日(水) ◆活動計画(提案理由、めあて、話し合うこと、条件の確認)を作成する。(朝) ◆話し合いの進行の仕方の確認(朝) ◆話し合いの議題の発表と、学級活動コーナーへの掲示(昼休み)</p> <p>10月14日(木) ◇「エブリ・ワン」シートに自分の意見を記入する。(朝) ◆予想される意見を事前に短冊に記入する。(昼休み)</p>	<p>○児童のつぶやきや気付きから、議題を選定できるよう、最近、ニュースや話題になっていること、これまでの学級活動で楽しかったことなどを想起できるような言葉掛けをする。</p> <p>○話し合いを進める際の留意点や、予想される意見や対立した際の対処方法、合意形成に向けた意見の整理の仕方を確認し、主体的に進行できるように、話し合い進行シートを記入させる。</p> <p>○議題や提案理由を学級全体で共有し、話し合いへの意欲が高まるよう、話し合いの議題の発表と学級活動コーナーへの掲示を行う。</p> <p>○自分の意見をしっかりとった上で話し合いができるよう、「エブリ・ワン」シートに自分の意見を記入する。</p>	<p>・よりよい学校生活を築くために進んで議題を選定し、話し合いの準備をしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(話し合い進行シート、発言)</p> <p>・「ミニオリンピック」への見通しや、自分の思いや考えをもって、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(「エブリ・ワン」シート、発言)</p>

<p>本時の活動</p>	<p>10月20日（水）第3校時</p> <p>◆話し合いの進行</p> <p>◇話し合い</p> <p>話し合うこと①</p> <p>「ミニオリンピックの種目」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人種目 1種目 ・団体種目 1種目 <p>話し合うこと②</p> <p>「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるための工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルール上のこと ・ルール以外のこと <p>◇振り返り</p>	<p>○児童の話合いへの参加意欲を高められるよう、児童の考え、その理由や思いに対する教師のコメント（助言や励まし）を書いた「エブリ・ワン」シートを返却しておく。</p> <p>○自分と異なる意見も尊重し、話し合いのめあてに沿った折り合いを付けたまとめができるよう、「エブリ・ワン」シートの中の合意形成のプロセスの例を基に、どうすればみんなの意見や思いを生かせるかを考えさせる。</p> <p>○次の話し合い活動につながるように、学習支援ソフトを使い、お互いのよかった点を考えて共有する。その際、発言の多さといった視点ではなく、お互いの意見や思いを踏まえて、2つの意見を合わせたり、条件を付けたり、納得の上で考えを変えたりといった、合意形成に関わる視点で振り返りをさせる。</p>	<p>・話し合いのめあてに沿って理由を明確にしながら発言したり、より多くの意見のよさを生かした合意形成ができるように考えたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>（「エブリ・ワン」シート、発言）〔記〕</p> <p>・合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解している。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>（「エブリ・ワン」シート、発言）</p>
<p>事後の活動</p>	<p>10月20日（水）</p> <p>◆決まったことを学級活動コーナーに記入する。（帰りの会）</p> <p>10月26日（火）第3校時</p> <p>◇ミニオリンピックの開催</p> <p>◇「ワン・アップトーク」を行い、「エブリ・ワン」シートに感想を記入する。（帰りの会）</p>	<p>○話し合いで決まったことや合意形成で大切にしたいポイントが分かるように、計画委員に学級活動コーナーに記入させる。</p> <p>○「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるミニオリンピック」というねらいを確認し、皆で協働できるようにする。</p> <p>○話し合いから実践までの自分や友達のよかった点を振り返り、認め合うための「ワン・アップトーク」を行い、児童が自分たちで決めて実践する充実感を感じられるようにする。</p>	<p>・「ミニオリンピック」を振り返り、自分や友達の頑張りに気づき、次の活動に生かそうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>（「ワン・アップトーク」の発言、「エブリ・ワン」シート）</p>

3 本時及び具体化した手立てについて

本時は、自分の意見とともに、友達の見のよさを生かす方法を考えて、合意形成をしていくことができるように次のような手立てを設定して活動を行った。

手立て1 個を大切にしたい、「エブリ・ワン」シートの活用

「事前の活動」においては、「個人種目と団体種目を一つずつ」「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるための工夫」について、「エブリ・ワン」シートに自分の意見を書かせる。その際、「本時」の話合い活動で、児童が自信をもって発言したり、自分の意見とともに、より多くの意見のよさを生かして合意形成をしたりできるように、特に、児童が書いた「理由やそこに込めた思い」を受け止め、担任からのコメントを書いておくようにする。また、「事後の活動」として、実際に決めたことを実践した感想を「エブリ・ワン」シートに記入させて、次の活動への意欲を高められるように、担任からのコメントを書くようにする。

手立て2 次の活動への意欲を高める振り返りの場の工夫

「本時」の話合い活動の振り返りの前に、単なる感想の共有にならないよう、これまでの話し合い活動における「AとBの意見を合わせていた」などの「合意形成」に関わる視点での気づきを紹介する。その上で、ICT機器（学習支援ソフト）を使って、お互いの感想や気づきを共有し、よい気づきなどは、担任から紹介していく。「事後の活動」の「ワン・アップトーク」においては、合意形成の意義、よさや難しさの振り返りにつながるよう、話し合い活動直後の思いとミニオリンピックを実施後の思いを比べさせるようにする。

手立て3 頑張りを見える化する補助的支援

自分たちで決める意欲が高まるよう、学級活動コーナーに話し合いのめあてや決まっていることなどを掲示したり、ミニオリンピックの様子を伝える学級通信を発行したりする。

4 授業の実際

(1) 事前の活動

まず、計画委員を中心に話し合い、議題と話し合いのめあてが決まった後に、全員に発表して、学級活動コーナーへ掲示する。次に、全員に「エブリ・ワン」シート(図1)に、「自分の考え」と「理由やそこに込めた思い」を書かせる。そして、話し合いへの意欲向上と意見のよさを生かした合意形成につながるよう「足が速い、速くないに関係なくできるから」「みんな知っているし、ルールが簡単だから」等の、特に、児童が「理由やそこに込めた思い」に記述した部分について、担任から賞賛のコメントを書いておくようにした。

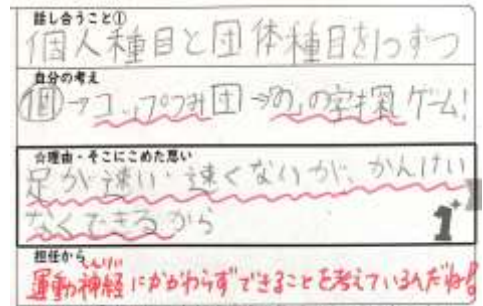


図1 「エブリ・ワン」シートの児童の記述と担任のコメント

(2) 本時の活動

事前に「エブリ・ワン」シートに、自分の考えを書いておいたことで、多くの児童が意見を発表することができた。話し合い活動の振り返りの前に、単なる感想の共有にならないよう、これまでの話し合い活動における「〇〇さんがクイズとなぞなぞをくっつけるというアイデアを出していた。」等の合意形成に関わる視点での気づきを紹介した。その上で、ICT機器(学習支援ソフト)を使い、全員が1つ以上、感想や気づきを書いて共有することができ(図2)、担任からもいくつか紹介した。また、「エブリ・ワン」シートの中の合意形成のプロセスの例のところに、今回の話し合いで使ったプロセスを選んで印を付けさせるようにした。今回、児童が選択した合意形成のプロセスで多かったものは、「多数決」(17人)、「納得してゆずる」(14人)であった。特に個人種目を決める場面では、当初「くつとぼし」という意見が多かったが、たくさんの意見を交流する中で、最後は「ビー玉すくい」に決まり、決定に納得の上、合意形成ができたことがうかがえた。

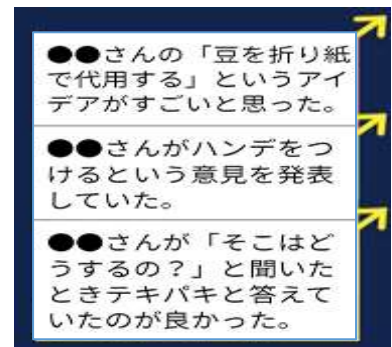


図2 ICT機器(学習支援ソフト)を使った振り返り

(3) 事後の活動

「一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるミニオリンピック」というねらいを確認し、実際にミニオリンピックを開催した(図3)。そして、合意形成の意義、よさや難しさの振り返りにつながるよう、話し合い活動の直後の思いとミニオリンピック実施後の思いを比べるように助言して、「エブリ・ワン」シートに実施後の感想を書かせた(図4)。それを基に、少人数で感想や反省を一つずつ発表し合う「ワン・アップトーク」を実施した。次回への反省とともに、「思っていたより楽しかった」など、実施前の印象との変化を記述・発言している児童も見られた。



図3 ミニオリンピックの様子

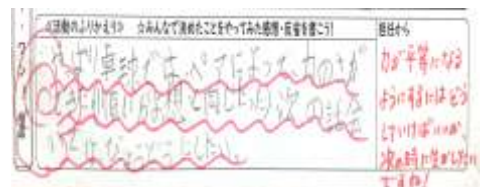


図4 「エブリ・ワン」シートの実施後の感想と担任のコメント

5 考察

今回は、「クラスのミニオリンピック」の種目等を決める話し合いであり、児童にとって切実感がある一方で、「できれば勝ちたい」「より自分が得意なものにしたい」という率直な思いもあり、合意形成がこれまでの話し合いよりも難しい面があった。しかし、「エブリ・ワン」シートの活用によって、一人一人の意見を引き出し、話し合いを深めることができた。最後には多くの児童が「納得してゆずる」ことができ、実施後の感想は前向きな感想も多かったことから、合意形成のよさや難しさ、充実感を体感させることができ、児童の自治的能力を高める一連の活動にすることができたと考える。

6 資料

「エブリ・ワン」シート

エブリ・ワン¹シート

年 組 番 氏名

議題 < 月 日 第 校時 >
話し合いのめあて

自分	話し合うこと①
	自分の考え
	☆理由・そこにこめた思い
	担任から
自分	話し合うこと②
	自分の考え
	☆理由・そこにこめた思い
	担任から

みんなの理由・そこにこめた思いを生かして決めよう！

①新しい考えをつくる! 回転寿司屋さんなら、レストランがいい子ども、和食がよかったおとなも、みんな楽しめる! 	②意見を合わせる! サッカー + 野球 キックベースみたいに、
③優先順位をつける! 今回は、バスケで、 次回は、バドミントンにする。 	④条件をつける! 「カルタ大会にするけれど、低学年は、お手つき無しにしたり、5枚ハンデをつけたりする。」
⑤少しずつ全部やる! クイズを 35分、 ピンゴを 10分やろう! 	⑥納得して中ずる! 「最初は〇〇と想ってたけど、みんなの意見を聞いて、□□の方にしたいや。」
⑦多数決をとる! 「いろいろ話し合ったけれど、決まらないから多数決しかないかな。」 	⑧その他 「まだ話し合いを続ける。」 「今は、決めるのはやめておく。」

エブリ・ワン! ¹	決まったこと	決める時に大切にしたい理由や思い
	<<活動のふりかえり>> ☆みんなで決めたことをやってみた感想・反省を書こう! 担任から	